

日本農芸化学会中四国支部 第26回若手研究者シンポジウム
「農芸化学の新潮流を探る」・特別企画「賛助企業からの農芸化学会への提言」

日時： 2017年10月6日（金）13:30 ～ 7日（土）11:45

場所： （独）酒類総合研究所大会議室（管理棟3F） <http://www.nrib.go.jp/>

参加費： 無 料（事前申し込み不要）※ 意見交換会への参加は申し込み必要（会費は以下に記載）

10月6日（金）

13:30-13:35 開会の辞

13:35-14:10 金井 宗良 先生（酒類総合研究所 醸造技術研究部門）
「清酒酵母のS-アデノシルメチオニン高蓄積機構に関する研究」

14:10-14:45 岩崎 崇 先生（鳥取大学 農学部）
「細胞膜透過ペプチド：ポリヒスチジンの発見と動物・植物細胞に対する
応用研究」

14:45-15:00 休憩

15:00-15:35 西 甲介 先生（愛媛大学 大学院農学研究科）
「食品成分によるアレルギー反応抑制効果」

15:35-16:10 尾仲 宏康 先生（東京大学 大学院農学生命科学研究科）
「微生物相互作用による放線菌抗生物質の生産活性化」

16:25-17:45 特別企画「賛助企業からの農芸化学会への提言」
パネルディスカッション参加企業：
池田糖化工業（株）・宮下酒造（株）・丸善製薬（株）・（株）林原（順不同）
パネリスト：
川向 誠 先生（島根大学 生物資源学部、日本農芸化学会中四国支部長）ほか

18:00-20:00 意見交換会（一般；3,000円、学生；1,000円）

10月7日（土）

09:00-09:05 連絡など

09:05-09:40 加藤 太陽 先生（島根大学 医学部）
「細胞内のヌクレオソーム配置：予測と実測の比較から見えてきたこと」

09:40-10:15 関藤 孝之 先生（愛媛大学 大学院農学研究科）
「液胞膜～未開のトランスポーターワールド～の入口にて」

10:15-10:30 休憩

10:30-11:05 矢中 規之 先生（広島大学 大学院生物圏科学研究科）
「食品の新たな機能性を見出すために ―実験動物に優しい評価法の開発―」

11:05-11:40 清田 洋正 先生（岡山大学 大学院環境生命科学研究科）
「次世代の抗インフルエンザ薬を目指して ～シアリダーゼ阻害剤の設計～」

11:40-11:45 閉会の辞

世話人： 荒川 賢治、池田 丈、田島 誉久、久米 一規（広島大）、五島 徹也（酒類研）

連絡先： 広島大学大学院先端物質科学研究科 〒739-8530 東広島市鏡山 1-3-1

荒川賢治 E-mail: karakawa@hiroshima-u.ac.jp TEL&FAX: 082-424-7767